

和歌山県理学療法士(協)会 代議員立候補者

定 数 : 5 名

立候補者数 : 5 名



氏名 安井 常正

都道府県士会 和歌山県

年齢 47

勤務先名称 新宮市立医療センター



氏名 上西 啓裕

都道府県士会 和歌山県

年齢 57

勤務先名称 和歌山県立医科大学附属病院

協会・士会役員歴

平成12年～ 和歌山県理学療法士協会理事
平成22年～ 日本理学療法士協会代議員

協会・士会役員歴

昭和63年4月～ 公益社団法人和歌山県理学療法士協会 理事
平成20年4月～ 公益社団法人和歌山県理学療法士協会 副会長
平成24年4月1日～ 公益社団法人日本理学療法士協会 代議員

立候補の趣旨

本協会は短期間に会員が急増し、若い会員が増え活気のある組織となってきました。しかし、近年のめまぐるしい社会情勢の変化の中で、ますます世代間格差、経済格差、地域格差が広がってきていると思います。今後、協会（組織）を更に発展させていくためには、若い会員が一生の仕事として続けられるようにすることこそが、我々の仕事だと思います。そのためには若い会員（人材）のエネルギーを十分に活かし、活躍できる場（環境）の整備が必要です。今後も若い会員が安心して生活が行えるように、理学療法士としての質の向上が行える場と職域の確保を目指して、尽力していきたいです。

立候補の趣旨

理学療法士は今や10万人を数え、より公益性の高い団体の一員である我々にとって、その社会的使命は個人的さらには組織的にますます重要な位置づけとなっています。そのようななかで、社会政策としての地域包括ケアシステムの導入は我々自身の将来においても非常に重要なターニングポイントであることは言うまでもありません。2025年に向け介護領域だけではなく、医療領域でも参画し協働していくために個人、組織レベルで認識を深め意識改革していく必要性を痛感しています。また、理学療法の対象は健康増進や疾病予防など全ての国民に対するものでなければなりません。まさに予防的・治療的理学療法についてのエビデンスを確立し、理学療法士の可能性と必要性を提示していかなければならないのです。そのことを実現していくためには、学術団体としてまた職能団体として、その組織力をいかに維持していけるかにかかっており、そのためには日本理学療法士協会と各都道府県士会の緊密な連携、関係性が必須であると考えています。私は和歌山県理学療法士協会理事としての30年間の経験を活かし、国民からそして社会から信頼される組織の構築に微力ではありますが尽力していきたいと考えております。



氏名 森本 昌信

都道府県士会 和歌山県

年齢 57

勤務先名称 琴の浦リハビリテーションセンター

協会・士会役員歴

平成20年4月～ 現在 (公社)和歌山県理学療法士協会 理事(事務局長)

立候補の趣旨

和歌山県理学療法士協会会員の声を、日本理学療法士協会へ届けるための代表の一人として立候補いたします。



氏名 西川 典男

都道府県士会 和歌山県

年齢 46

勤務先名称 介護老人保健施設リバティ博愛

協会・士会役員歴

平成18年～現在 和歌山県理学療法士協会 理事

立候補の趣旨

理学療法士という素晴らしい職業の発展の為に今後も頑張りたいと思います。



氏名 鍋嶋 崇之

都道府県士会 和歌山県

年齢 45

勤務先名称 辻整形外科

協会・士会役員歴

H 9 ～ 県士会地域局部長
H 2 6 ～ 日本理学療法士協会 代議員
H 2 8 ～ 県士会職能局部長

立候補の趣旨

地域局部長として培った経験を地域包括ケア構築に役立てたいと考えます。
また職能団体としての発展のため貢献したいと考えます。